

年末年始は飲酒の機会が増えます。

飲酒に起因する交通事故は毎年多く発生しています。飲酒をすると、多くの人は気が大きくなり、注意も散漫になります。歩行者は無理な道路横断をしたり、泥酔状態で道路に寝込んで、

飲酒交通事故の防止

事故に巻き込まれることもあります。

お酒に強い、弱いに関係なくアルコールの摂取は、運転にも影響します。

①発見の遅れ②操作の遅れ③反応の遅れとなり、事故につながる恐れがあ

ります。脳への影響として①注意力の低下②判断力の低下③情報処理能力の低下が考えられます。

酒酔い運転は、違反点数35点、免許取り消しと厳しい処分となります。

酒を飲んでいることを知って車両を提供したり、同

乗したり、酒類を提供した者も厳しい処分を受けます。

飲酒事故が起きないように、社会全体で取り組みましょう。



交通安全三原則